

**BEENOS の投資先、インドのオンライン C2C 不動産マーケットプレイス「NoBroker」が
General Atlantic などからシリーズ C ラウンドにおける
51 百万米ドル(約 55 億円)の資金調達について発表**

BEENOS 株式会社(東京都品川区 代表取締役:直井 聖太、以下「BEENOS」)の投資先でインドのオンライン C2C 不動産マーケットプレイス「NoBroker(ノーブローカー、URL: <https://www.nobroker.in/>)」を運営する NoBroker Technologies Solutions Pvt Ltd. (以下、NoBroker)は、シリーズ C ラウンドにおける 51 百万米ドル(約 55 億円)の資金調達について発表いたしました。今回の調達を含め、これまでの累計調達額は 71 百万米ドル(約 77 億円)となります。本投資ラウンドは、アメリカに本拠を置くグローバルな投資会社である General Atlantic(ジェネラル・アトランティック)が主導し、既存株主も参加しています。

BEENOS は、2016 年 2 月に同社に出資いたしました。当社は、NoBroker が市場規模が大きく専門性の高いマーケットプレイスであることに加え、急激に人口が増加しているインドにおいて加速度的に成長することを見込み、シリーズ B ラウンドにおいて投資をしております。当社の出資比率は今回の投資ラウンド後も変わらず 1~5%内です。

NoBroker は、テクノロジーによって情報格差や不透明性を解消し、インドの不動産業界においてイノベーションを起こすべく、不動産オーナーと借り手をサイト上で直接繋ぐ他、不動産の賃貸及び売買に際し、物件を探して契約するまでの一連の手続きを全てオンラインで行うことができる仕組みを提供しています。

インドでは、賃貸契約をする場合不動産オーナーと借り手の双方が、仲介となるブローカーに手数料を支払う商習慣があり、この仲介手数料は年間 20 億ドル(約 2,160 億円)以上になると言われていますが、NoBroker は基本的なサービスは無料で提供しており、この 1 年間で削減した仲介手数料は 150 百万米ドル(約 162 億円)以上にのぼります。現在同サービスにはムンバイ、バンガロール、グルガオンなど 5 都市において圧倒的ナンバーワンとなる 250 万以上の物件が登録されており、毎月 1 万 5,000 人以上が NoBroker を通して物件の賃貸・購入を行っています。

NoBroker は、今回の調達によって、機械学習・人工知能の精度向上を図り不動産取引を更にシームレスでスピーディにするとともに、サービス展開エリアをインドの 5 エリアから 25 エリアに拡大し、インドの不動産業界においてナンバーワンのサービスになることを目指します。

※()内は、1 米ドル=108 円の換算

※本リリースは NoBroker 発表のプレスリリースをもとに記載しております。

【BEENOS 株式会社の概要】

- (1)社 名 : BEENOS 株式会社
- (2)代 表 者 : 代表取締役社長 兼 グループ CEO 直井 聖太
- (3)本 店 所 在 地 : 東京都品川区北品川四丁目 7 番 35 号
- (4)設 立 年 月 : 1999 年 11 月
- (5)資 本 金 : 27 億 75 百万円

以上